



# 中・四タイムス

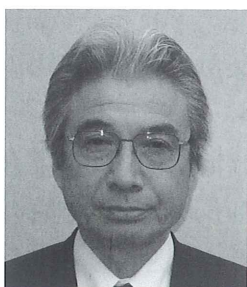
社団法人日本建築積算協会 中国四国支部  
 〒730-0013 広島市中区八丁堀 3-12-301  
 TEL 082-221-9759 FAX 082-221-9794  
 ホームページ <http://bsij-ts.com/>  
 E-mail [thugokushikoku@bsij.or.jp](mailto:thugokushikoku@bsij.or.jp)

## 社団法人日本建築積算協会 支部設立 30 周年記念祝宴



### 目 次

支部長挨拶	2
平成 22 年度支部総会の開催について	3
退任役員・新任役員挨拶	5
30 周年記念事業概要	6
平成 23・24 年度役員公募	15
試験ご案内	17
建築コスト管理講習会のご案内	19
積算学校ご案内	21



## 支部長あいさつ及び 今年度の支部活動方針

中国四国支部長 太田 和夫

今年も暑い夏がやってきました。会員の皆様方にはお元気でご活躍のことと、心よりお喜び申し上げます。

さて一年以上も前から関係者全員で取り組んでまいりました支部設立 30 周年記念事業が、おかげ様で大成功のうちに幕を閉じることができました。ひとえに当支部の役員・事務局・会員の方々、また本部・他支部の役員の方々、並びに諸官庁及び関係諸団体の皆様方のご協力によるものと感謝しております。この場をお借りしてお礼を申し上げます。残念ながらご出席できなかった会員の方々に記念事業の一部をご紹介します。

まず記念式典は国家の演奏の流れる中、厳かな雰囲気につつまれ始まりました。さすがに緊張気味の私の挨拶に続き、ご来賓の方々より暖かなお祝いのお言葉をいただき大いに感激したことが、つい昨日のことのように心に残っております。また当日のフィナーレの祝宴では、和やかな雰囲気の中、心を込めておもてなしをさせていただきました。管弦楽四重奏ありコーラスあり、そして懐かしいDVD映写会・・・そして万歳三唱までの全てが時間通り、予定通りに進行できましたことを関係者一同嬉しく思っています。その他のイベントにつきましては、この後のページに掲載されていますのでご覧になってください。

30 周年の話題はこの辺にしておきまして、平成 22 年度も早いもので 3 か月が経ちました。今年度も当支部では、さまざまな事業計画を立て、その目標に向かって日々努力しているところです。特に力を入れているのが学校教育です。昨年までの広島工業大学、広島女学院大学に加え、今年からは広島国際大学さらには四国職業能力開発大学の 4 校へ講師を派遣し積算の授業を行い、積算士補の資格を取得できるよう取り組んでいます。会員の高齢化対策の一環として若年層に裾野を広げて、なんとか会員や資格者の減少に歯止めをかけたいというのはもちろんですが、ひいては積算協会の知名度UPにつながって欲しいと願っています。また各地での講習会にも力を入れています。昨年苦戦した積算学校も順調ですし、新しい試みの『ここが知りたい勉強会』も好評です。また長年の課題であった設備工事についても分かりやすい講習会を企画していますので、是非とも皆様のご参加をお待ちしています。

私たちは支部設立 30 周年を経て、今 40 周年に向かって新しい一歩を踏み出しました。長きにわたりご尽力いただいた役員の方々にも、時代の流れ、世代交代という時期がやってきました。新しい方々にスムーズにバトンタッチできますように、私たちは各々の役割をしっかりと認識して、積算協会の発展と地位向上に向け、引き続き努力していくつもりです。今後とも皆様方のご支援ご協力を賜りますよう、くれぐれもよろしく願いいたします。

清水建設株式会社広島支店

## 平成 22 年度 支部通常総会の開催について

平成 22 年度（社）日本建築積算協会中国四国支部通常総会を本部より野呂副会長の出席の下、開催しました。

総会終了後に『支部設立 30 周年記念事業』として記念式典、記念講演、祝宴を開催させていただきました。会員交流のレクリエーションとして前日のボウリング大会、翌日のゴルフコンペ、呉・江田島ツアーをご用意しました。この記念事業は 30 年という大きな節目を迎え、長きに亘り当支部をご指導・ご支援下さった関係諸団体の方々、会員諸氏へ感謝の気持ちを込め一昨年の 12 月から企画していたものです。

新たな一步を踏み出す、そんな決意も込めた事業でありましたので、国土交通省中国地方整備局内野井営繕部長を始め、多数の来賓のご臨席・会員の皆様のご参加をいただけたことはとてもありがたいことでした。

1. 日 時 平成 22 年 4 月 23 日（金）13：00～13：40
2. 会 場 ANA クラウンプラザホテル 広島市中区中町 7-20
3. 開会の辞 大津副支部長より司会挨拶及び開会の辞があった。  
総会成立宣言：支部総会員数 242 名、本日出席者 50 名・委任状 98 名  
定款第 28 条により正会員の 1/2 以上の出席があり成立するとの報告。

#### 4. 支部長挨拶（要旨）

本日はご多忙中、総会にご出席いただきありがとうございます。支部設立 30 周年を迎えることができました。会員をはじめ皆様方のお蔭と心より御礼申し上げます。本日は総会終了後に『支部設立 30 周年記念事業』としまして、記念式典、記念講演、祝宴を開催させていただきます。ご参加の程宜しくお願い致します。30 周年を節目とし、気持も新たに支部運営に取り組む所存であります。今年度はさらに「建築積算士」の地位向上、「建築コスト管理士」の PR、学校教育の推進等様々な活動を展開したいと考えております。今後ともご協力の程宜しくお願い申し上げます。

#### 5. 野呂副会長挨拶（要旨）

30 周年おめでとうございます。  
現在は景気の落ち込み、先行きの見えない時代であり、入札・建築確認申請の厳格化・国政権の変化があります。公益法人改革については当協会は公益法人を目指します。財政基盤は安定してきました。社会貢献の為、会員の為、協会の在り方を再考しています。

#### 6. 議長選任

司会者より定款第 27 条により、太田和夫支部長を選任。

7. 議事録署名人の選出

西田功氏・谷村禎巳氏を選任。

8. 議案審議

第1号 平成21年度事業報告

横段副支部長より21年度事業報告について説明があり、審議を求められた。結果 異議なしで承認された。

第2号 平成21年度収支決算及び監査報告

岡田広報・会員委員長より21年度収支決算について報告、菅会計監事より監査報告があり、審議を求められた。結果 異議なしで承認された。

第3号 支部役員一部改選(案)

八道講習委員長より説明があり、審議を求められた。結果 満場一致で承認された。

第4号 平成22年度事業計画(案)

横段副支部長より22年度事業計画(案)について説明があり、審議を求められた。結果 異議なしで承認された。

第5号 平成22年度収支予算(案)

岡田広報・会員委員長より22年度収支予算(案)について説明があり、審議を求められた。結果 異議なしで承認された。

第6号 その他

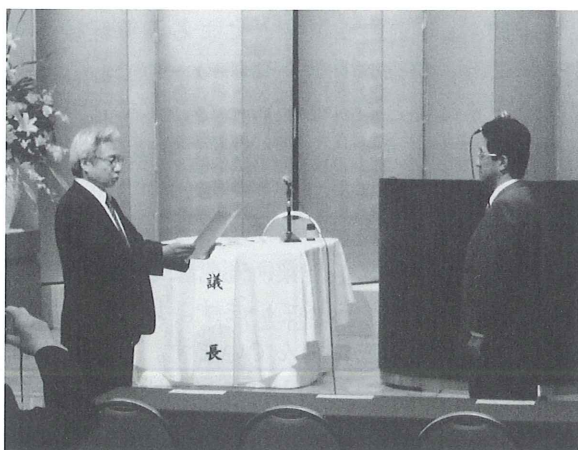
なし

9. 退任役員表彰 太田支部長より河田昇二氏に感謝状及び記念品を授与。

10. 閉会の辞

議案・議事が無事終了し、議長退席。

司会者より閉会の辞が述べられた。





## 退任挨拶

河田 昇二

このたび、4月に中国四国支部の設立30周年という節目に資格制度委員を退任いたしました。在任中は、協会の皆様と一緒に活動させていただきましたことを深く感謝申し上げます。気がつけば9年経っていたのですが、振り返ってみればあっという間でした。更新講習では、高知、松江、松山へと、広島からは少し距離と時間のかかる地域を廻らせていただきましたが、多くの方とお話ができ楽しい時を過ごさせていただきました。

会社では積算業務を長いことさせていただきましたが、昨年の3月に営業部門に異動となり、世の中は景気低迷で受注競争も一段と激化する中、コストの重要性が肌身で感じる今日この頃であります。景気のいい時代は生産側に立って見積を行い、それがすんなり通って受注も利益も確保できることが多かった訳ですが、現在では、ちょっとした積算や値入ミスが命取りとなってしまいます。すなわち、積算や見積業務は縁の下ではなく、大黒柱であって経営の真ん中に位置していることを再認識すると共に、優秀な人材を育成していく必要があります。積算協会においても、質の高い積算士や、コスト管理士を世に送り出すべく活動されていくと思いますが、今後ともシームレスで活発な活動を願っています。

長い間、協会の皆様にはお世話になり本当にありがとうございました。中国四国支部の益々の発展と、皆様のご健勝を祈念して退任の挨拶とさせていただきます。

株式会社竹中工務店 広島支店



## 新任挨拶

岩本 誠輝

この度、弊社の河田の後を引き継ぎまして、中国四国支部の資格制度委員をさせて頂くことになりました岩本です。宜しく申し上げます。

まず、私の経歴を紹介させていただきます。私は、入社36年間のうち30年間、作業所で施工管理担当しておりました。見積勤務の経験は約6年間です。その6年間は、随分昔になりますが、入社当初の手拾いの時代3年間、5年前のシステムによる積算経験半年、さらに、ここ2年間の内勤の見積部での経験です。平成2年には、将来の有望な資格の一つであるとの友人の勧めで建築積算士の資格を習得しました。資格の取得で業務に幅と深みが加わったと実感しており、現在もおおいに役立っています。

振り返って考えますと、若い時に見積に係わったおかげで図面を読み取る力（納まり・法的解釈等）、仮設計画・施工手順等をコストに活かす力を身につけることが出来ました。又、一級建築士の試験にも役立ちそのおかげで早々に合格することが出来ました。作業所ではスピーディでタイムリーな数量・コスト把握を行うことが出来、作業所運営にも役立ちました。このような経験から、見積・積算は建設業の基本であるとの思いを強く持っています。以上の経験に基づいた信念もあって、現在は、見積業務の指導を通して、日々後輩の育成に励んでいます。これからは、今までの経験をいかして、当支部の発展のために微力ながらつとめてまいりますのでご支援のほど宜しくお願いします。

株式会社竹中工務店 広島支店

## 支部設立 30 周年記念事業をふりかえって

実行副委員長 網代木 元

前年度、この事業を開催することが決まり、早速実行委員会が設置されて準備に取り掛かりました。時を同じくして当協会の公益法人化についての問題やそれに伴う組織改造、事業改革等が議論されていた時期とも重なって、役員の方も大変あわただしい1年であったと思います。記念事業も実行委員全員が積極的に取組まれた御蔭で無事且つ成功裡に終了することができました。事業を組立てるコンセプトは、30年間の活動の集大成を関係者、会員と祝い交流すること、又、これからの発展を祈念すると共に先輩諸氏への感謝の気持ちを表すことです。合わせて一般の方を交え、ともに仲間として触れ合って積算にふれ理解を深めて頂く目的で記念講演を計画しましたが、自由参加としたため知名度抜群の講演者を探すため長い交渉の時間を必要としました。

最初に、このイベントに対する周囲の理解と参加者の協力を得るためのPR計画から始まりました。広報部会では、記念誌発行と合わせ記念座談会も2面計画され(その様子は中建日報にも報道されました)、合わせてPR用パンフレット作成などについて検討が進みました。式典当日の式典、講演、祝宴の各部会では、今までに経験した全国大会などの事業を参考にして、支部総会もあるので試行錯誤しながら進行を計画しました。

4月23日(金)式典当日となり、多数の来賓を始め当協会本部役員、支部役員、会員が参列して式典が執り行われました。記念講演は、黒岩祐治先生、小朝師匠の軽妙な話に一般の方を含めて300席が満席となりました。祝宴では、いつもの懇親会とは変えて生演奏やコーラスグループも交えて支部の歴史を語る雰囲気となりました。DVDを制作して懐かしい人達を紹介したり、歴代の支部長と役員に対し会場から感謝の拍手を頂き、お礼のことばを添えました。計画の立案では、会場と決まったANAクラウンプラザホテルのスタッフの協力もあって、作成したシミュレーションに沿って何度も打合せを重ねて事故の無い様に皆で気を配りました。

レクリエーション部会は担当役員の方は参加者の確保でご苦労がりましたがスムーズに運んだと感じています。記念事業の前日4月22日(木)から始まったのはボーリング部会によるレクリエーション競技でした。総勢40名という盛況でハイレベルなスコアが続出しました。4月24日(土)には、ゴルフ部会による記念コンペとツアー部会による呉・江田島観光のレクリエーションがあり、全て順調に進み無事に記念事業を終了することが出来ました。以下それぞれの部会より報告がなされていますので、是非ご覧下さい。

式典の直前には記念事業事前会議、支部役員全体会議に続き22年度支部通常総会が開催され、これも滞りなく終わることができました。忙しい一日を役員全員と事務局の頑張りで大過なくやりきることが出来ました。関係者の皆様大変ご苦労さまでした。ご協力頂きました皆様ありがとうございました。

株式会社ハジメ積算コンサルタント

## 式典

中田 美子

平成22年4月23日（金）14時から、ANA クラウンプラザ（元全日空ホテル）におきまして『支部設立30周年記念式典』を開催させていただきました。

多数のご来賓のご臨席をいただき、本部より藤上輝之会長・野呂幸一副会長・塩田克彦副会長・佐藤隆良副会長・東重孝北海道支部長・中畑恒関西支部長及び多くの会員が出席し、下記の内容で厳粛に進行しました。

皆様にはご多忙中にも関わらずご出席をいただき心より御礼申し上げます。

1. 開会宣言の後、国歌演奏に続き来賓の方々をご紹介させていただきました。
2. 当支部 太田和夫支部長よりご挨拶と30年にわたるご支援・ご協力への感謝の言葉、また当協会 藤上輝之会長よりご挨拶を申し上げます。
3. ご来賓の国土交通省 中国地方整備局営繕部長 内野井宗哉様、広島市 都市整備局営繕部長 津田靖文様、社団法人広島県建築士事務所協会 副会長 高田輝雄様よりお祝辞をいただきました。
4. 先達のご苦勞を偲び、物故者へ黙禱をささげました。
5. 「記念史」を披露させていただきました。
6. 太田支部長より今後の抱負とお礼を申し上げ、閉会とさせていただきます。

事務局

ご来賓	国土交通省 中国地方整備局 営繕部長	内野井 宗哉殿
	国土交通省 中国地方整備局 営繕部 営繕品質管理官	益田 眞治殿
	広島県 都市局 建築課長	河原 直己殿
	広島県 総務局 財務部営繕課長	猪木 晴文殿
	広島市 都市整備局 営繕部長	津田 靖文殿
	社団法人広島県建築士会 会長	錦織 亮雄殿
	社団法人広島県建築士事務所協会 副会長	高田 輝雄殿
	社団法人広島県設備設計事務所協会 会長	佐藤 大三殿
	財団法人建築技術教育普及センター中国四国支部 支部長	藤谷 義信殿



## 講演会

### 黒岩氏の「どうなる日本」と小朝師匠の「小朝の人生笑談」はマグネット講演会

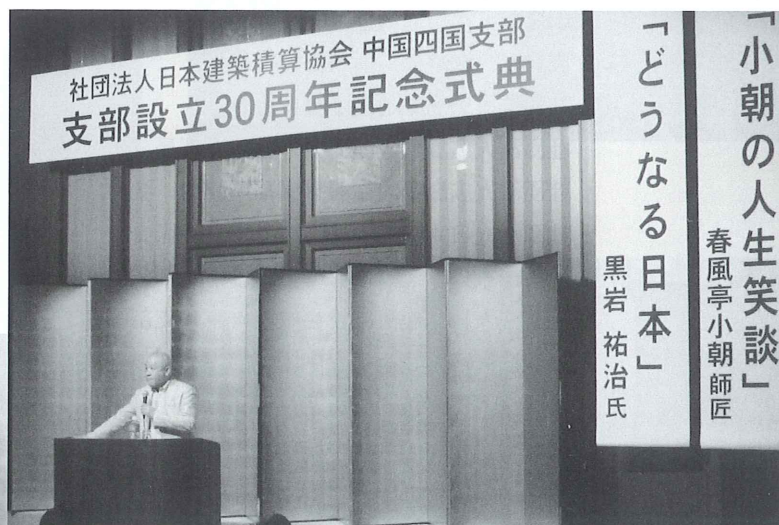
講演部会 横段 隆弘

中国四国支部で初めての一般の方々を招いての講演会は、演者が有名人ということもあり、大入り満員の客席の熱気の中で、黒岩祐治氏の政局の話から幕が開きました。安部政権に続き鳩山政権についての予測も見事に外れてしまいました。いつもならあまり興味をもたない政治の話もおもしろく聞くことができました。また、いろいろな社会の動きをわかりやすいことばでお話しされ、特に「マグネット〇〇」（磁石のように人を吸い寄せる〇〇）は、多くの人のところに刻まれたことと思います。

休憩を挟み、春風亭小朝師匠の登場は黒岩氏の話からゆっくりと始まりましたが、いつの間にかテンポの速い笑いの世界に巻き込まれ、手を変え品を変え繰り出される笑談に、ふと気が付くと腰を浮かして食い入るように聞いている私がありました。まわりの人も皆おなじように小朝師匠のことばを合図に一齐に笑ったり静まったり、不思議な一体感に包まれた時間を過ごすことができました。頭を下げて小走りに会場を去っていく小朝師匠の後姿が扉の向こうに消えても惜しめない拍手は鳴り止まず、ぼつりぼつりと会場を後にされる方々とともに講演会の幕も降りてゆきました。

この余韻が、私達の新しい一歩へと繋がってゆくような思いでいます。

横段建築事務所





## 祝 宴

中 田 美 子

軽快な生演奏の中、皆様にご入場いただき祝宴が始まりました。

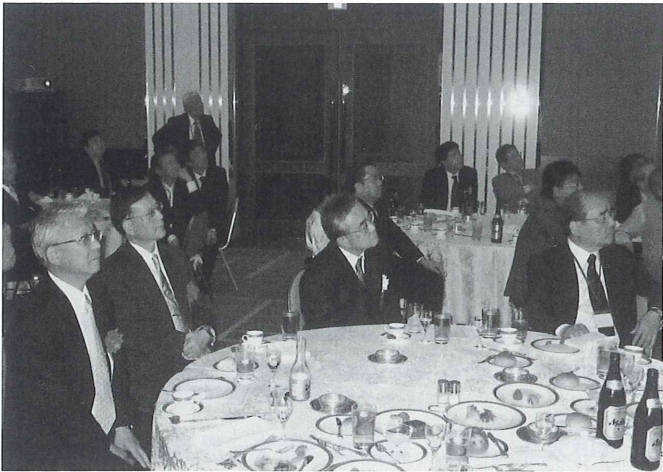
当日は支部通常総会もあり本来であれば「懇親会」とさせていただくのですが、30周年記念式典・記念講演の流れで「祝宴」とさせていただきました。厳粛な記念式典・まじめな話と楽しい話の記念講演・和やかな祝宴とメリハリをつけようと企画しました。

当支部太田支部長・当協会藤上輝之会長よりの挨拶に続き、ご来賓の国土交通省中国地方整備局営繕部長 内野井宗哉様、広島県総務局財務部営繕課長 猪木晴文様、社団法人広島県建築士会会長 錦織亮雄様よりお祝辞をいただきました。当協会野呂幸一副会長の乾杯の発声により、いつもとは違う雰囲気です。フルコースの食事が始まりました。管弦四重奏のミニコンサートやBGM、楽しい4人組(男性2人・女性2人)のコーラスを聴き、会場の皆様の大合唱あり、と大いに盛り上がりました。DVDの映写では『支部設立30年の歩み』としての懐かしいお顔を紹介しました。多くの先達のご苦勞を偲ばせていただきながら、歴代支部長として古林敏郎氏・大旗健氏・高松隆夫氏、太田和夫現支部長を壇上にお招きし感謝の言葉を送り、皆様より惜しめない拍手をいただきました(表紙写真)。社団法人広島県設備設計事務所協会会長 佐藤大三様より中締めのお言葉、万歳三唱のご発声をいただき、和やかなひと時をすごさせていただきました。お陰様で『新たな一步を踏み出す』ことができました。

ご多忙中、ご出席いただいた皆様へ改めてお礼申し上げます。

事務局

ご来賓	国土交通省 中国地方整備局 営繕部長	内野井 宗哉 殿
	国土交通省 中国地方整備局 営繕部 営繕品質管理官	益田 眞治 殿
	広島県 都市局 建築課長	河原 直己 殿
	広島県 総務局 財務部営繕課長	猪木 晴文 殿
	社団法人広島県建築士会 会長	錦織 亮雄 殿
	社団法人広島県建築士会 広島支部長	川本 克彦 殿
	社団法人広島県設備設計事務所協会 会長	佐藤 大三 殿
	社団法人日本建築構造技術者協会中国支部 支部長	松島 日出雄 殿
	社団法人日本建築協会中国支部 支部長	森 畑 武 殿
	社団法人日本建築家協会中国支部 支部長	村重 保則 殿
	社団法人日本建築学会中国支部 支部長代理	西名 大作 殿
	財団法人建築技術教育普及センター中国四国支部 支部長	藤谷 義信 殿
当協会	藤上輝之会長・野呂幸一副会長・塩田克彦副会長・佐藤隆良副会長 東重孝北海道支部長・中畑恒関西支部長	



# ボウリング大会

ボウリング部会 瀬尾 淳二

支部設立 30 周年記念事業のイベントとして、ボウリング大会を 4 月 22 日（木曜日）広島パークレーンにおいて、1 フロア 10 レーンを貸切り、参加者 40 名にて開催しました。

支部長の挨拶に始まり、それぞれレーンに別れ 2 ゲームプレーしました。

丁寧にコースを狙って投げる人、力任せに投げる人と様々でしたが、ボウリング世代の方々の上手さには目を見張るものがありました。

その後、場所を移し表彰式を行いました。スコア表を片手にボウリング談話に盛り上がり、笑いとお酒の絶えない、楽しい時間を過ごす事が出来ました。

普段、なかなかお会いする事のない方々と交流ができ、非常に良い機会となりました。

株式会社砂原組

## （団体戦）

（敬称略）

優 勝	菅 秋廣・岸本 国幸・久保田 寿・瀬尾 淳二
準 優 勝	八道 憲一・岡田有紀・井ノ本 修・亀樋 三津夫
3 位	橋本 融・武藤 健次・梶田 義広・中田 香穂里

## （個人戦）

優 勝	森村 くみこ
準 優 勝	横段 隆弘
3 位	武藤 健次
ブービー賞	深川 健太



## 呉・江田島ツアー

ツアー部会 八道 憲一

朝から快晴のなか、ホテル法華クラブを8:00に出発。参加者皆さんの期待と気持ちの高ぶりが運転手さんにも伝わり、バスの走りも軽やかに宇品港へ予定より早く到着。一便早いフェリーの出港で観光ツアーが始まりました。それが功を奏して江田島海上自衛隊第一術科学校では2時間近く、満足の行く見学ができました。

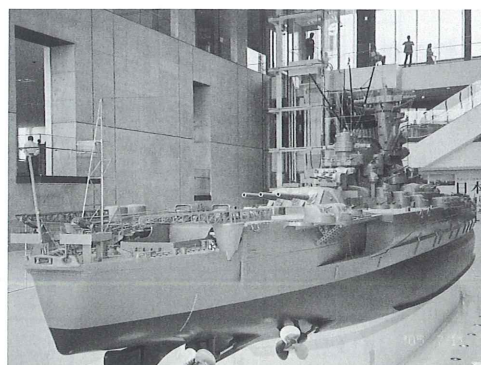
ここは戦前、海軍将校養成の基地であり、戦後は自衛隊の幹部候補生の学校です。

元教官OBのガイドによる、ユーモラスで駄洒落まじりの説明が添えられ、鉄骨煉瓦石造の大講堂、ギリシャ神殿風の教育参考館、その中には戦前の歴史的資料、進駐軍より返却された資料など1,000点を見ることができました。

当時、国の威信を保たんが為か 外国産スレート屋根、外壁の煉瓦・倉橋産の花崗岩など豪華な建築材料には目を見張るものがありました。校内は、あまりにも広すぎて若干疲れ気味でした。その後陸路で呉に向かい、途中螺旋車路と赤色の橋で有名な音戸大橋『つつじの咲きは一週間早かったかな?』、現役の潜水艦・駆逐艦を目の前にみて、いよいよ呉の街 海軍さんの麦酒館に到着。ビールに酔いしれ、楽しい食事の一時を過ごしました。

壮大で世界一を誇った戦艦「大和」と大和が辿った運命、東洋一の軍港として栄えた呉、空襲と戦後の復興など呉の歴史を知り、今さらの様に平和の尊さを痛感した時を過ごし、この時代に生きていることの幸福感を味わうなど貴重な歴史探訪の旅ができたことは、参加者22名全員が無事楽しく過ごせたことに感謝すると共に一番の喜びでありました。

広島建設株式会社 中国支店



## ゴルフコンペ



ゴルフ部会 岸本 武

先ずこの記念コンペに、参加して頂きました皆様方に、厚くお礼を申し上げますと共にご協力頂きました関係者の方々にも、感謝申し上げます。

さて去る4月24日(土)前日の記念式典等の余韻も残る中、広島近郊の戸山カンツリークラブに於いて、設立30周年記念コンペが行われました。当日の午前中は気温10度以下という冬型のお天気ではありましたが、晴天に恵まれ午後からはポカポカと暖かい春らしい気候の中、総勢33名による優勝杯争奪戦が繰り広げられました。

午前8時集合、8時30分より太田支部長挨拶、簡単なルール説明の後、全員による記念撮影が行われ、各組各々にOUT、INに分かれ、OUTは当会の佐藤副会長、INは直井建築士事務所協会会長による始球式が行われ、ほぼ定刻の08:56には各組スタートする事が出来ました。

コースとしては、自然の地形を巧みに利用した起伏に富んだコースで、グリーンはアンジュレーションが有り、油断すると3パットは当たり前という程の全体的に難しいコースではありましたが、参加者全員優勝目指して一日奮闘されました。

プレー終了後のミーティングでは、今日のプレーを各組が振り返りながらしばし歓談が続いた後、各賞の発表並びに表彰式が行われました。

優勝は(社)広島県建築士事務所協会会長の直井氏、準優勝は三富氏(西建築事務所・積算士)でしたが、順位表は次の通りです。優勝された直井氏は、(株)近代設計コンサルタントの会長ですが、当支部設立時には初代和田社長(故人)に支部役員をお願いしていた事も有り、何がしかの因縁を感じずにはおれませんでした。

特別賞のドラコン・ニヤピンは、大津副支部長と三富氏が、合わせて各3ヶづつ取られましたが、やはり上位入賞者としての力を充分発揮され、うらやましい限りでした。

表彰式等も、和気あいあいと行われ、終了予定時刻を十分程オーバーは致しましたが、今日一日のコンペを、事故も無く全て終了と同時に、30周年記念行事の最後として、大団円を迎える事が出来ました。

本当に有難うございました。厚くお礼申し上げます。

株式会社広島二葉積算

# 順位表

競技方法：ダブルペリア

ネット 順位	グロス 順位	氏 名	スコア		グロス	ハンディ	ネット
			OUT	IN			
1	9	直 井 稔 征	51	47	98	25.20	72.80
2	1	三 富 祥 治	43	40	83	9.60	73.40
3	5	日 垣 秀 彦	42	47	89	15.60	73.40
4	3	松 岡 幹 太 郎	40	48	88	14.40	73.60
5	17	山 田 延 弘	52	53	105	31.20	73.80
6	10	野 中 晴 夫	47	51	98	24.00	74.00
7	4	大 津 和 紀	44	45	89	14.40	74.60
8	7	山 根 治 郎	43	53	96	20.40	75.60
9	13	兵 頭 誠 一	51	50	101	25.20	75.80
10	16	岸 本 武	48	57	105	28.80	76.20
11	15	埜 野 通 貴	51	52	103	26.40	76.60
12	18	田 宮 洋 一 郎	53	52	105	27.60	77.40
13	21	藤 本 正	52	58	110	32.40	77.60
14	6	大 元 一 美	49	47	96	18.00	78.00
15	25	吉 永 員 志	54	58	112	33.60	78.40
16	22	岸 本 国 幸	57	54	111	32.40	78.60
17	2	小 川 實	37	50	87	8.40	78.60
18	23	野 村 正 範	54	57	111	32.40	78.60
19	14	曾 田 治	46	56	102	22.80	79.20
20	8	車 田 聡	47	49	96	16.80	79.20
21	27	佐 藤 隆 良	55	61	116	36.00	80.00
22	11	太 田 和 夫	51	47	98	18.00	80.00
23	20	鍋 田 幸 伸	48	59	107	26.40	80.60
24	26	谷 村 禎 巳	57	56	113	31.20	81.80
25	12	高 田 輝 雄	46	54	100	18.00	82.00
26	19	黒 田 清 治	52	55	107	24.00	83.00
27	30	生 西 健 司	58	61	119	36.00	83.00
28	28	管 秋 廣	55	62	117	33.60	83.40
29	29	木 谷 和 俊	61	56	117	32.40	84.60
30	24	杉 田 洋	60	51	111	24.00	87.00
31	31	黒 瀬 武 夫	66	65	131	36.00	95.00
32	32	網代木 学	70	61	131	34.80	96.20
33	33	田 原 辰 男	69	66	135	36.00	99.00

# 社団法人日本建築積算協会中国四国支部 平成 23・24 年度役員公募

当支部役員の改選を行います。

つきましては公募致しますので下記により立候補して下さい。

なお、現役員の方で選任委員会によって選出される場合、立候補は不要です。

1. 応募資格 ①支部に所属する正会員で、3名以上の正会員の推薦が必要  
②年齢・性別不問  
③熱意をもって支部活動ができる方
2. 活動内容 ①役員会・委員会(月1回程度・約2時間)  
②支部運営(会員集会・講習会・研修会等)  
③『建築積算士』・『建築コスト管理士』活用促進及び「試験」・「更新講習」支援
3. 任 期 平成23年度支部総会にて承認後2年間
4. 報 酬 なし(但し、交通費は支部規程による)
5. 応募方法 「支部役員立候補届」に必要事項を記入の上、中国四国支部へ郵送して下さい。  
※ 推薦者の署名・捺印が必要です。  
送り先: 〒730-0013 広島市中区八丁堀 3-12  
(社)日本建築積算協会 中国四国支部
6. 締 切 平成22年10月31日(消印有効)
7. 選任方法 支部役員選任細則による

平成 22 年 月 日

社団法人 日本建築積算協会中国四国支部  
支部役員立候補届

ふりがな 氏 名	⑩	会員番号	
		生年月日	昭和 年 月 日
住 所	〒	TEL	- -
		FAX	- -
勤 務 先 所属部・課 役 職		〔業 種〕 積算事務所 設計事務所 建設業 官公庁 その他 ( )	
勤務先住所	〒	TEL	- -
		FAX	- -
立候補にあたって			
-----			
-----			
推 薦 者	⑩	会員番号	
		住 所	
	⑩	会員番号	
		住 所	
	⑩	会員番号	
		住 所	

(中国四国支部 平成23・24年度支部役員立候補届書式)



## 社団法人 日本建築積算協会

# 平成22年度「建築積算士(建築積算資格者)試験」案内

従来の「建築積算資格者」が平成21年4月から「建築積算士」に名称変更されました。

1990年度(平成2年度)から、建築物の設計図書等に基づき、建築数量積算基準等を中心とした適正な積算技術により、数量調書の作成及び工事費の算定並びにこれらに附帯する知識及び技術について毎年度試験を行い、二次試験に合格し登録を申請し受理された方に当協会会長より「建築積算士」の称号を付与する事業を実施しています。

(平成22年4月現在累計登録者数 37,627名)

- ・受験資格は平成22年4月1日現在、満17歳以上であれば、学生、社会人すべて受験できます。
- ・二次試験受験資格は、一次試験に合格した方、及び一次試験を免除された方となります。(一次試験免除対象者については、下記参照)

### 【一次試験(学科)】

#### ・受験資格

試験を受ける年の4月1日現在満17歳以上※  
の方なら誰でも受験できます。

※1993年(平成5年)3月31日以前に生まれた方

#### ・試験(一次二次とも)受験案内及び受験申込

協会ホームページにて公開(下記アドレス参照)

#### ・試験受験申込方法及び受付期間

方法 協会ホームページに掲載する申込フォームにて  
仮受付後、受験料振込により本受付されます。

#### 【一次試験】

仮受付期間:平成22年6月21日(月)~8月20日(金)

本受付期間:平成22年6月21日(月)~8月31日(火)

#### 【二次試験】

仮受付期間:平成22年9月1日(水)~11月12日(金)

本受付期間:平成22年9月1日(水)~11月30日(火)

#### ・受験手数料 26,250円(消費税含む)

#### ・試験地 札幌・仙台・東京・名古屋・ 大阪・広島・福岡・宮崎・沖縄 (全国9都市9会場)

#### ・試験日・時間

一次試験(学科) 平成22年10月24日(日)

集合 12:35 試験時間 12:50~16:20

二次試験(実技) 平成23年1月23日(日)

集合 9:15 試験時間 9:30~17:10

#### ・試験合格者の発表

一次試験(学科) 平成22年12月8日(水)頃

二次試験(実技) 平成23年3月1日(火)頃

#### ●参考図書(申込は当協会へ) 表示額は消費税込み

建築積算資格者試験 問題と解説《学科》¥4,200

建築積算資格者試験 問題と解説《実技》¥4,600

### 【一次試験免除対象者】

次のいずれかに該当する方は、一次試験が免除されます。

①建築士法による一級建築士、二級建築士及び木造建築士の免許を受けている方。

②建設業法による一級建築施工管理技士及び二級建築施工管理技士の合格証明書の交付を受けている方。

③本会が実施する積算学校卒業生。

④平成20・21年度の一次試験に合格された方。

⑤建築積算士補の方

(受験資格証明書/一次試験免除に必要な書類)

上記①免許証等の写し(コピー)

上記②合格証明書等の写し(コピー)

上記③卒業した積算学校事務局発行の証明書

上記④一次試験合格通知書又はその写し(コピー)

上記⑤士補を証明できる書類

※婚姻等で証明書等の氏名変更の場合、戸籍抄本等必要。

#### ●試験の構成

##### (1) 一次試験(学科)の構成

出題形式:多肢択一式

①基礎知識:建築積算の基礎となる建築一般の知識。

②建築数量積算の理解度:建築数量積算基準の目的や原則に関する理解。また、これに基づいて建築工事費を算出するための建築数量を計測・計算し、数量調書を作成する知識及び技術。

③工事費に関する知識:建築数量積算基準及び建築工事内訳書標準書式等に基づき工事費を算定する知識及び技術。

④建築生産に関する知識

##### (2) 二次試験(実技)の構成

出題形式:筆記(計測・計算等)式

○一次試験で問われた諸知識及び技術を活用し、設計図書等によって、建築工事費の積算を行うための実務処理。

## 社団法人 日本建築積算協会 本部事務局

〒105-0014 東京都港区芝3-16-12 サンライズ三田ビル7階

電話 03-3453-9591 FAX 03-3453-9597

問い合わせ

詳細は、ホームページ <http://www.bsij.or.jp/> に掲載 e-mail [hp@bsij.or.jp](mailto:hp@bsij.or.jp)

## 社団法人 日本建築積算協会

# 平成22年度「建築コスト管理士試験」案内

認定事業の目的：プロジェクト遂行にあたり、建築のライフサイクル全般に渡って、コストマネジメントを担当する高度な知識及び技術を有する技術者を育成し、建築コストの透明性・妥当性・公平性を追及することにより、建築生産の進歩発展と社会に寄与する。また、建築コスト技術者の技術水準及び社会的地位の向上を図ることを目的とする。（平成22年4月累計登録者数1,391名）

【受験資格】試験は、次のいずれかに該当する方であれば、受験することができます。

(1) 建築積算士を取得後、更新登録を1回以上行い、かつ建築関連業務を10年以上経験し、そのうち、建築コスト関連業務において責任

ある業務に2年以上の実務経験を有する方。

(2) 建築関連業務を10年以上経験し、そのうち建築コスト関連業務において責任ある業務を5年以上の経験を有し、かつ受験年齢が試験当日で32歳以上の方。

### 【試験】

#### ・試験受験案内及び受験申込

協会ホームページにて公開（下記アドレス参照）

#### ・試験受験申込方法及び受付期間

方法 協会ホームページに掲載する申込フォームにて仮受付後、受験料振込により本受付されます。

仮受付期間：平成22年6月21日（月）～8月31日（火）

本受付期間：平成22年6月21日（月）～9月7日（火）

・受験手数料 28,350円（消費税含む）

・試験地 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡・宮崎・沖縄

・試験日・時間 平成22年10月24日（日）

学科試験 12:50～15:20（2時間30分）

論述試験 15:40～17:40（2時間）

#### ・試験合格者の発表

平成22年12月15日（水）頃

試験合格通知書に登録に必要な書類を同封します。

#### ●参考図書（申込は協会ホームページで）

ガイドブック建築コスト管理 ¥4,800（税込）

建築コスト管理ガイドブック（別冊）¥1,500（税込）

#### ●過去問題を入手したい方へ

（過去問題の申込は直接協会本部へご連絡ください。）

平成17～21年度までの5カ年度分の問題を入手出来ます。

各学科試験問題については、解答例つきです。

各論文試験問題については、解答例はなく問題のみです。

過去問題入手ご希望の方は、送料及び事務手数料分として下記あてに¥1000を現金書留（或いは切手）でお送りください。その際、「コスト管理士試験問題コピー希望」と明記してください。

その他、建築コスト管理に関する講習会等の情報は、随時ホームページに掲載しております。

### 【受験資格審査】

受験者が申込フォームに記入した「建築関連業務」「コスト関連業務」「責任ある業務」についての実務経験に基づき審査します。

### 【試験の範囲】

	試験の範囲	審査の基準
1	建築コスト管理に関する基礎的知識	建築コスト管理士の役割、建築コストなどに関する基礎的事項で、コスト管理を行う上で、必要な専門知識について審査する。
2	ビルディング・エコノミーに関する知識	建築生産の企画の当初における建物の経済計画に必要な専門知識について審査する。
3	コストプランニングに関する知識と技術	建築生産の各段階におけるコスト算出、コストプランニングの各種手法に関し、コスト管理を行う上で必要な専門知識について審査する。
4	コストデータの整理・分析に関する知識と技術	コストデータの整理・分析に必要な専門知識について審査する。
5	建築コスト管理に係わる関連知識	建築生産の各段階におけるコスト管理を行う上で必要な専門知識について審査する。
6	建設工事に関する技術と知識	建設工事に関連する構・工法における専門知識について審査する。
7	建築関連法規の知識	建築関連法規のうち基礎的知識と都市づくりのための都市開発諸制度についての知識について審査する。

### 【試験の方法】

#### ①学科試験

イ. 学科試験問題は、50問全て必修とする。

ロ. 試験時間は、2時間30分とする。

#### ②論述試験

イ. 論述試験は、論述テーマを示し、そのテーマに沿って所定の原稿用紙に記述していただき、その内容により可否を判定する。

ロ. 試験時間は、2時間とする。

【特記事項】 学科試験合格基準点を超えた者は、次年度から2年間に限り学科試験を免除する。

社団法人 日本建築積算協会 本部事務局

問い合わせ先 〒105-0014 東京都港区芝3-16-12 サンライズ三田ビル7階

電話 03-3453-9591 FAX 03-3453-9597

詳細は、ホームページ <http://www.bsij.or.jp/> に掲載 e-mail [hp@bsij.or.jp](mailto:hp@bsij.or.jp)

～川上段階から川下段階における～

## 「建築コスト管理」講習会のご案内

主 催：(社) 日本建築積算協会 中国四国支部

後 援：国土交通省

協 賛：(社) 広島県建築士会・(社) 広島県建築士事務所協会・(社) 広島県建設工業協会

建築生産を取り巻く環境の変化は著しく、特にコスト領域における川上から川下にいたる建築生産の全過程において、一貫した建築コスト技術の関与が殆んどなかったため、建築プロジェクトの円滑な遂行が行われていないケースが多く見受けられます。このような状況から、当協会では『建築コスト管理』ガイドブックを編集・発行し、「別冊」も付け加え内容を充実させ、《建築コストに対する確実な知識と管理技術を持って、これらのニーズに応えることができるよう》講習会を開催することになりました。

このガイドブックは、第1章：建築コスト管理に関する基礎的知識、第2章：ビルディングエコノミーに関する知識、第3章：コストプランニングに関する知識と技術、第4章：コストデータの整理・分析に関する知識と技術、第5章：建築コスト管理に係わる関連知識、で構成されております。建築コスト管理者としての位置付け、在り方、職域での職能倫理等を取り上げた内容となっていますので、建築コスト管理業務のお役に立つと確信しております。講習はパワーポイントにより、解説いたします。なお、「修了証」を交付します。

是非この機会をご活用下さいませようご案内申し上げます。

### 記

1. 開催地・開催日・会場（定員に達し次第締め切らせていただきます）

開催地	開催日	会場	定員
広島	平成22年8月28日（土）	アステールプラザ 広島市中区加古町 4-17	30名

2. 時間割 10:00～16:30（昼食休憩を含む）

3. 講師 社団法人日本建築積算協会選任講師

4. テキスト 『建築コスト管理』ガイドブック 4,800円（税込）  
『建築コスト管理』ガイドブック（別冊） 1,500円（税込）

編集・発行：社団法人日本建築積算協会

5. 申込方法 ①申込書を FAX または郵便でお送り下さい。  
②受講料は原則として前納です。送金手数料はご負担下さい。  
③受講票と会場案内図をお送りしますので、当日受講票をご持参下さい。

6. 受講料 (税込み)

区 別	『建築コスト管理』ガイドブック、同別冊含む
積算協会会員	10,500円
建築積算士(建築積算資格者)	12,600円
官公庁・協賛団体会員	12,600円
一 般	14,700円

7. 申込先 (社) 日本建築積算協会 中国四国支部  
〒730-0013 広島市中区八丁堀 3-12 砂原ビル 301  
TEL 082-221-9759 FAX 082-221-9794

8. 送金先 (社) 日本建築積算協会 中国四国支部  
ゆうちょ銀行 振替口座 01300-7-55494

9. その他
- ①ご欠席の場合、テキスト『建築コスト管理』ガイドブック等はお送りしますが、受講料の返金は致しません。
  - ②受講者の変更は早急にご連絡下さい。(修了証発行の為)
  - ③この講習会は当協会 CPD 制度・建築士会継続能力開発 (CPD) プログラム・建築CPD情報提供制度において単位認定の予定です。

(Fax 082-221-9794)

## 「建築コスト管理」講習会 受講申込書

【 広島会場 】

平成22年 月 日

勤務先 住所		TEL
		FAX
	〒	
受講票送付先が 上記以外の場合		
所属団体	積算協会 ・ 建築士会 ・ 事務所協会 ・ 建設工業協会 ・ 建築協会	
氏 名	区 別	受講料
	積算協会会員 (No. ) ・ 建築積算士 (No. ) 建築士 (No. ) 官公庁・協賛団体会員・一般	
	積算協会会員 (No. ) ・ 建築積算士 (No. ) 建築士 (No. ) 官公庁・協賛団体会員・一般	

(会場案内図： 要 不要 )

\* 建築CPD情報提供制度にご登録されている方は、建築士番号を必ずご記入下さい。

～建築積算技術の習得を目指す方へ～

## 建築積算学校（広島校）第2期のご案内

主 催：(社)日本建築積算協会 中国四国支部

後 援：国土交通省

協 賛：(社)広島県建築士会・(社)広島県建築士事務所協会・(社)広島県建設工業協会

当協会は我が国唯一の建築積算専門教育機関として、昭和52年に「建築積算学校」を開校し、現在も東京校・九州校が期を重ねており、千数百名の卒業生を送り出し各職場で活躍しておられます。

そこで、この度当支部におきまして広島校を開校することになりました。

1977年に我が国で初めての官民合同による『建築数量積算基準』が完成して以来、機動的かつ適切な見直しを重ね、平成12年からは公共工事全般に活用できるようになっています。

支部で作成した実習用教材（RC造一部2階建て、延べ112.50㎡）を使い、この『建築数量積算基準』に則った講義を行います。ひとつの建物を教材として建築積算の実務を具体的に学習していただき、解説と実習を通して、数量拾いから集計・内訳書の作成ができる建築積算技術者の養成を目的としています。

科目別（RC・鉄骨・仕上）の受講も可能です。すでに建築積算業務に従事されている方をはじめ、社内研修等今から習得したい方にはこの建築積算学校をお薦め致します。

なお、本校を卒業した場合、当協会が実施しております「建築積算士」一次試験が免除されます。

是非、この機会をご活用下さいますようお願い申し上げます。

### 記

1. 期 間           平成22年6月5日（土） ～ 11月13日（土）  
                          全23回（8月14日を除く毎週土曜日、毎回：9：30～16：30）
2. 会 場           (社)日本建築積算協会 中国四国支部  
                          広島市中区八丁堀 3-12

3. 受講資格 工業高校建築課程卒業程度の建築に関する基礎知識を有する方。
4. 講師(予定) 菅原 博 おおぞら建研株式会社 代表取締役  
 森岡 勝利 おおぞら建研株式会社  
 岡田 泰司 株式会社岡田積算建築設計 代表取締役  
 友清 将之 株式会社岡田積算建築設計  
 尾下 順至 コストプランニング株式会社 専務取締役  
 森川 洋至 株式会社広島二葉積算  
 桑名 智也 株式会社広島二葉積算  
 木谷 和俊 清水建設株式会社OB  
 横段 隆弘 横段建築事務所 所長
5. テキスト 『建築積算テキスト』(当協会発行) 1,500円(税込)  
 『建築数量積算基準・同解説』 4,200円(税込)  
 『建築工事内訳書標準書式・同解説』 4,400円(税込)  
 実習用教材 2,000円(税込)
6. 定員 16名
7. 受講料 全課程受講(上記テキスト・教材をすべて含みます)  
 一 般 140,000円  
 当協会会員 120,000円  
 部分受講(必要なテキストを購入して下さい)  
 1日について 6,000円  
 \*『建築積算テキスト』1,500円と教材2,000円は必携です。
8. 卒業 履修課程の単位を取得し、全授業日数の80%以上の出席が必要です。
9. 申込方法 ①申込書をFAXまたは郵便でお送り下さい。  
 ②受講料を下記送金先へご送金下さい。  
 受講料は原則として前納です。恐縮ですが送金手数料はご負担下さい。  
 ③受講票及びテキスト引換券をお送りしますので、当日ご持参下さい。
10. 申込先 (社)日本建築積算協会 中国四国支部  
 〒730-0013 広島市中区八丁堀3-12 砂原ビル301  
 TEL082-221-9759 FAX082-221-9794
11. 送金先 (社)日本建築積算協会 中国四国支部  
 ゆうちょ銀行 振替貯金(郵便振替)  
 口座番号01300-7-55494
12. その他 欠席の場合、ご注文のテキストと実習用教材はお送りしますが、受講料の返金は致しません。
13. 会場詳細 案内図は受講票とFAXにてお送りします。  
 駐車場の確保はしていません。

No.	月 日	講 義 内 容
1	6月 5日	入学式、オリエンテーション 建築数量積算基準の総則、積算概論、設計図書、実習用教材の説明
2	6月12日	土工・地業の数量積算、コンクリート・型枠・鉄筋(基礎)の数量積算①
3	6月19日	コンクリート・型枠・鉄筋(基礎)の数量積算②
4	6月26日	コンクリート・型枠・鉄筋(上部)の数量積算①
5	7月 3日	コンクリート・型枠・鉄筋(上部)の数量積算②
6	7月10日	コンクリート・型枠・鉄筋(上部)の数量積算③、集計・チェック
7	7月17日	鉄骨の数量積算①
8	7月24日	鉄骨の数量積算②、集計・チェック、内訳書(鉄骨工事)の作成
9	7月31日	土工・地業、躯体(コンクリート・型枠・鉄筋・鉄骨)のテストと解説
10	8月 7日	設備工事の積算
	8月14日	盆休み
11	8月21日	建築数量積算基準仕上関係解説、外部仕上の数量積算①
12	8月28日	外部仕上の数量積算②
13	9月 4日	内部仕上の数量積算①
14	9月11日	内部仕上の数量積算②
15	9月18日	内部仕上の数量積算③、内外仕上の集計・チェック
16	9月25日	建具・仮設・木材・屋外施設等の数量積算
17	10月 2日	仕上関係(内外部仕上・建具・仮設・木材・屋外)のテストと解説
18	10月 9日	工種別集計・工種別内訳書
19	10月16日	積算データの整理と活用、建築積算関連の知識
20	10月23日	改修工事の積算
21	10月30日	内訳書・改修工事・建築積算関連知識のテストと解説
22	11月 6日	概算手法
23	11月13日	懇談会「建築積算の実務の現状と将来」・アンケート(3時間) 卒業式、懇親会(講義時間には含まない。)

講義の80%以上の出席があれば卒業となります。

建築積算士(建築積算資格者)の一次試験免除は、次年度の受験から認められます。

#### 科目別の受講について

土工・地業、コンクリート・型枠・鉄筋の積算 5日 30時間(第2回～第6回まで)

鉄骨の積算 2日 12時間(第7回と第8回)

仕上の積算(内外装のみの場合) 5日 30時間(第11回～第15回まで)

仕上積算の場合は、建具その他を含めて6日(36時間・上記+第16回)の受講も可とします。

# 一般社団法人 日本建築積算事務所協会 (JAQS)

## 建物の価値を高める「コストと品質」を管理する積算事務所

我々積算事務所は、コスト管理の専門家集団として建築コストの透明性、客観性、妥当性を確保し、社会のニーズに積極的に対応しています。

### (本 部)

名 称 一般社団法人 日本建築積算事務所協会 理事長 楠山 登喜雄  
 所 在 地 〒105-0021 東京都港区東新橋 2-10-10 東新橋ビル 2階  
 電話 03-3457-9651 FAX 03-3457-9651 E-mail:contact@jaqs.jp  
 URL <http://www.jaqs.jp>  
 地 域 会 関東地域会、東海北陸地域会、関西地域会、中国四国地域会

### (中国四国地域会)

名 称 一般社団法人 日本建築積算事務所協会 中国四国地域会 会長 網代木 元  
 所 在 地 〒730-0013 広島市中区八丁堀 3-12 砂原ビル 301号  
 電話 082-511-8520 FAX 082-511-8525  
 URL [www.jaqs.jp/chusikoku/](http://www.jaqs.jp/chusikoku/)

## 中国四国地域会 会員名簿

中国四国地域の積算事務所を代表する地域会です。私達、地域会の活動によりコストマネジメントのプロフェッションとして信頼を確立していくことを目標としています。



会員企業名	登録者名	住所・TEL・FAX
おおぞら建研(有)	菅原 博	〒733-0821 広島市西区庚午北 1-10-5 082-272-2921・082-271-6629
(株)岡田積算建築設計	岡田 泰司	〒730-0047 広島市中区平野町 11-12 082-299-5052・082-504-7621
(有)久保田建築積算事務所	久保田 寿	〒730-0012 広島市中区上八丁堀 7-5 プロティヒロシマビル 501号 082-511-9355・082-511-9357
(株)ハジメ積算コンサルタント	網代木 元	〒730-0048 広島市中区竹屋町 3-8 082-248-0705・082-248-0702
(株)広島二葉積算	岸本 武	〒730-0041 広島市中区小町 1-20 今井広島ビル 3F 082-247-6941・082-245-8144
(株)古澤建築事務所	古澤 正孝	〒734-0051 広島市南区東青崎町 10-3 洋和ビル 1F 082-285-8820・082-285-8821
(株)ペントハウス積算	椿野 隆則	〒732-0056 広島市東区上大須賀町 1-23 082-506-0570・082-264-7722

※ 入会ご希望の方は会員入会申込書をご請求下さい。



<http://www.kyoei.co.jp/fks>  
進化し続けるからNO1  
協栄産業の積算・見積システム  
**FKS COMPASS**  
 **協栄産業株式会社**  
ソリューション営業部 (大阪) 大阪市福島区福島3-14-24  
TEL 06-6451-9781 FAX 06-6451-9810

建築積算システム開発  
**System Obje**  
システム オブジェ 山本 慎二  
<http://www5.ocn.ne.jp/~yama1900>  
システム開発協力  
**横段建築事務所**  
〒737-0001 広島県呉市阿賀北8丁目 5-18  
TEL(0823)73-5721 FAX(0823)73-5621

人と建築の交りを探め? ……  
 **大旗連合建築設計株式会社**  
代表取締役 大旗 健  
  
ISO 9001:2000 認証取得  
岩国営業所  
本社 〒730-0051 広島市中区大手町3丁目3番27号  
電話 (082)244-3734 FAX (082)244-2642  
<http://www.oohata-arch.co.jp/>

子どもたちに誇れるしごとを。  
**SHIMIZU CORPORATION**  
**清水建設**

建築積算を基盤にコスト面から  
建築のあらゆるステップでクライアントのパートナー  
㈲日本建築積算協会 ㈲広島県建築士事務所協会 ㈲日本建築積算事務所協会 会員  
 **株式会社 岡田積算建築設計**  
業務内容：建築積算・建築コスト管理 〒730-0047 広島市中区平野町11-12  
プロジェクトマネージメント TEL 082-299-5052 FAX 082-504-7621  
建築設計・工事監理 URL:<http://www.okada-sekisan.co.jp/>  
okada building survey & architectural office

(社)日本建築積算協会会員  
(社)高知県建築士事務所協会会員  
**杉本積算事務所**  
代表者 杉本 壽伸  
建築コスト管理士・建築積算士  
〒781-0012 高知市薊野東町9番39号  
TEL 088-845-0422 FAX 088-845-0422  
建築の積算及工事費の算出



## 事務局よりご挨拶

中田美子

支部総力を挙げて取り組んだ『支部設立30周年記念事業』を無事終了することができました。役員を始め、多くの関係者の方々のご尽力の賜物と心より御礼申し上げます。何の問題もなく終了できたことは本当に有難く、安堵感に包まれ暫し呆然としておりました。「肩の荷おろし症候群」とはこんなものかと思ひながら、事後処理をしました。

私が昨年の2月に復帰したのはこの記念事業のためでしたが、事務局としても息の抜けない緊迫感の中でいろいろと取り組んできたように思います。事務局内の大改装に始まり通常の業務に加え、この30周年記念事業でしたので役員の方にご協力をいただきながらも、一人体制の事務局は多忙を極めました。

特に記念講演では承諾書は返って来たけど黒岩氏と小朝師匠は本当に来て下さるのか、300名の方が集まって下さるのかと、初めての経験でハラハラ、ドキドキの連続でした。当日、多くの参加者と黒岩氏のお顔を拝見し、ホテルの前で小朝師匠を出迎えたときには正直ホットしたものです。

私が当支部にご縁をいただいたのは平成2年9月でした。当協会の大きな流れの中で私の処遇も時に様変わりしましたが、今は肩の荷がおろせたと実感しています。お陰様で6月末日をもち退職させていただくことになりました。

役員・会員の皆様より多くのお力添えをいただき、長く勤めさせていただけたと思っております。至らぬことが多々あったと思います。皆様に支えられての20年でした。深く御礼申し上げます。

なお、事務局には4月より松木麻美さんが勤務しております。ご指導、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

想いをかたちに



竹中工務店  
www.takenaka.co.jp



株式会社 ハジメ積算コンサルタント

デザインとコストの調和をマネジメント  
建築各段階のコスト管理を提案します。

代表取締役社長 網代木 学

広島市中区竹屋町3番8号 〒730-0048  
TEL(082)248-0705 FAX(082)248-0702  
関連会社:コストプランニング株式会社  
http://www.hajimesekisan.co.jp/

建築設計・監理

有限会社 谷村建築設計事務所

一級建築士・代表取締役 谷村 禎巳

〒732-0008 広島市東区戸坂ぐるめ木1丁目1-6  
TEL (082) 502-5781 FAX (082) 502-5782



株式会社 広島二葉積算

代表取締役会長 岸本 武  
取締役社長 小田 武彦

コストアドバイザー

建築の積算及工事費の算出

〒730-0041 広島市中区小町1-20今井広島ビル TEL247-6941  
株式会社 二葉積算 FAX245-8144  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目7-30 TEL03-3369-1244  
小田急柏木ビル9階  
各支社 東京・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌

中国地区唯一の建設総合専門誌



正確・迅速な報道をモットーに情報を的確にお届けします  
株式会社 中建日報社 支社・支局  
代表取締役 絹井 正博 岡山支社 086-225-5681 呉支社 0823-70-0226  
〒730-0806 広島市中区十日市町2丁目1-8 山口支社 083-901-0188 周南支局 0834-32-7371  
TEL (082) 297-7111 (代) 防府支局 0835-23-2906 東京・大阪・福岡  
FAX (082) 297-7112 福山支局 084-920-8431



西風新都  
KISHO  
Printing Co.,Ltd.

喜勝印刷株式会社

〒731-3168 広島県広島市安佐南区伴南2-5-5  
TEL.(082)830-1711 FAX.(082)830-1001  
E-mail:kisho01@plum.ne.jp

■設計・監理 (社)徳島県建築士事務所協会会員



株式会社 西田設計

代表取締役 西田 功

〒770-0943 徳島市中昭和町2-23-2  
TEL (088) 654-7766 (代) FAX (088) 654-7769  
E-mail:nishida@tk2.nmt.ne.jp

\*\*\*\*\*

### ご挨拶

松木 麻美

平成22年4月1日に中国四国支部に入りました松木麻美と申します。

当支部は、30年目の節目の年ですが、私はまだ4ヶ月目を迎えたばかりです。

何かと解らないことが多く、役員の方々を始め、会員の方々へご迷惑をお掛けしております。

日々、役員の皆様、事務局長の中田さんに色々ご指導して頂き、勉強の毎日を送っております。一日でも早く事務局の仕事に慣れ、そして、新しい節目に向かって一層の努力をしまいる所存でございます。

まだまだ未熟ですが、精一杯頑張りますので、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

### 編集後記

暑中お見舞い申し上げます。まずは誌上を借りて、4月に開催しました当協会支部設立30周年記念事業に際し、ご尽力、ご協力を頂き、感謝とお礼を申し上げます。

さて、今回の選挙の争点は『景気対策』と云われております。社会情勢は上向き傾向にあるとは云え我々を取り巻く建設産業の市況は依然厳しい状況が続いております。

今こそ積算業務の重要性を広めるチャンスと捉え、当協会もいっそう広報活動に努力する所存です。

広報・会員委員会

